

設備更新やIT化、スキルマップ活用により多台持ち・自動化を推進して生産性向上

1949年創業の県下トップクラスの鉄鋼加工・卸売業者。建築・金型・各種鋼材を取扱っている。品目は、鉄・特殊鋼・ステンレス・アルミニウム・銅など多岐にわたる。鋼材の切断・開先加工といった一次加工から、製缶・マシニング加工といった三次加工までのすべての工程を、自社で行うことができる設備と人材を有している。これら設備と人材を活用して顧客ごとのオーダーメイド加工製品をタイムリーに供給することができる鋼材のワンストップショップ構想を推進している。

●所在地 鳥取県鳥取市古海542-1
●電話/FAX 0857-23-0990/0857-23-0999
●URL <http://www.simiz-corp.com>
●代表者 代表取締役社長 清水 昭生

●設立 1958年
●資本金 5,000万円
●従業員数 98人



多台持ちの推進及び自動化の推進による付加価値向上

需要の大型化・精密化に対応し、絶えず最新鋭の設備への更新を行っている。設備更新の際には、従来機よりも生産能力の高いものや、複数の機能を持った複合機を導入し、多台持ち(1人が同種の機械を何台も持って、同一加工を大量に行うこと)や作業工程の効率化を推進し付加価値向上を図っている。平成29年6月には経営力向上計画の認定を受け、新工場建設に着手(平成30年12月完成)。完成後は、作業レイアウトの改善や、作業時間の短縮化、生産能力のより一層の増強、自動化が期待できる。



新工場

ITの積極活用によりベテランと若手との経験の差を解消

製造設備を継続的に最新鋭のコンピューター制御のものに更新。勘や経験を重視してアナログ機械を好むベテラン職人を尊重しつつも、経験の浅い若手従業員のために自動化が推進できる最新設備を積極的に導入して機械の性能で経験不足を補っている。これにより熟練工と若手との間で品質の差が生まれない生産体制を構築することができている。また、業容拡大に合わせて工場も順次拡大しているが、単なる加工能力増強にとどめず、ライン改善による作業人数削減やマテリアルハンドリングの改善も行っている。



プレス加工作業

スキルマップを活用した人材育成による働きやすい職場の実現

各人の機械操作の習熟度を、①他人に教えられる、②独力で操作できる、③補助があれば操作できる、④操作できない、の4段階に分けて、誰が、どの機械を、どのレベルで操作できるのかが一目で分かるスキルマップを作成。スキルマップは人材育成に活用しており、操作できる者が習熟者の少ない機械の教育を重点的に行い、同じ機械を操作できる人数を増やすことで、繁忙時には他部署が応援できる柔軟な生産体制を可能としている。さらに、代替要員がいるといった安心感が休暇取得の推進にも繋がっている。



製缶作業